

株式に関するお手続きについて

証券会社などの口座に記録された株式

お手続き、ご照会などの内容	お問合せ先
<ul style="list-style-type: none"> ● 郵送物などの発送と返戻に関するご照会 ● 支払期間経過後の配当金に関するご照会 ● 株式事務に関する一般的なお問合せ 	株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒183-0044 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
<ul style="list-style-type: none"> ● 住所・氏名変更などの上記以外のお手続き、ご照会 	口座を開設されている証券会社などにお問合せください。

特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会などの内容	お問合せ先
<ul style="list-style-type: none"> ● 特別口座から一般口座への振替請求 ● 住所・氏名などのご変更 ● 特別口座の残高照会 ● 配当金の受領方法の指定* 	特別口座 口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒183-0044 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
<ul style="list-style-type: none"> ● 郵送物などの発送と返戻に関するご照会 ● 支払期間経過後の配当金に関するご照会 ● 株式事務に関する一般的なお問合せ 	株主名簿管理人 インターネットによるダウンロード https://www.tr.mufg.jp/daikou/

* 特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

パーソルホールディングス

東京都港区南青山1-15-5 パーソル南青山ビル TEL 03-3375-2220(代表)

※ 本報告書に記載されている事項には、将来についての計画や予想に関する記述が含まれています。実際の業績などはさまざまな要因により大きく異なる可能性があり、その確実性を保証するものではありません。



この印刷物は「FSC®認証紙」と「植物油インキ」を使用しています。

はたらいて、
笑おう。



株主・投資家の皆様へ 株主通信

パーソルホールディングス

2021年3月期通期のご報告 2020.4.1~2021.3.31



100年、200年、 価値を提供し続ける企業グループに。

パーソルグループの魅力は「人」です

2021年4月に代表取締役社長 CEOに就任しました和田孝雄です。

パーソルグループは、1973年の創業以来、はたらく人々や多くの企業のためになりたいと誠実に仕事と向き合い、価値を提供してまいりました。その50年近くにわたって積み上げてきた信用や信頼は、何ものにも代え難い当社グループの財産であり、「世の中に貢献したい」「社会の役に立ちたい」と考える社員が育っていることは、当社グループの誇りでもあります。

私は、少子高齢化がさらに進行するこれからの日本は、「人材立国」になるべきだと

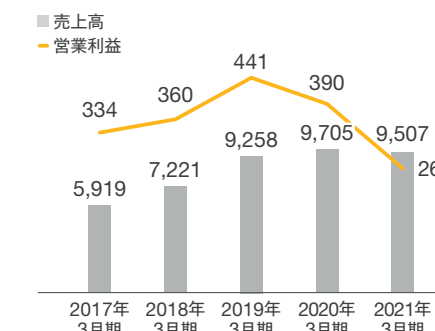
代表取締役社長 CEO
和田 孝雄



業績ハイライト

売上高	9,507億円	前期比 2.0% 減
営業利益	264億円	前期比 32.4% 減
親会社株主に 帰属する 当期純利益	158億円	前期比 108.0% 増
1株当たり 年間配当金	26円	前期比 4円 減配

売上高／営業利益(単位:億円)



パーソルホールディングス IRサイトのご案内

詳細な財務データについては、パーソルホールディングスのIRサイトをご覧ください。



[▶ 詳細な財務データはこちら](#)



はたらいて、 笑おう。



私たちパーソルグループは、「はたらいて、笑おう。」をグループビジョンに、人材派遣サービス、転職サービス、ITアウトソーシングや設計開発など、人と組織にかかわる多様なサービスを提供しています。さらにそれにとどまらず、人とテクノロジーの融合による次世代のイノベーション開発、またアジア・パシフィック地域におけるサービス展開にも積極的に取り組んでいます。



考えています。はたらく一人ひとりの仕事の推進力を上げることで、日本の生産性も上がり、国際競争力も強まるからです。

そういった社会における当社グループの役割は、人材と産業、社会を結ぶ一企業として、はたらく人々や多くの企業からの期待を常に超える価値やサービスを提供し、人々の豊かな生活や産業の発展に貢献していくことです。はたらく人々と多くの企業に伴走するグループとして、仕事にやりがいを感じ、成長していく人を増やすことで、世界中で「はたらいて、笑おう。」を最大化できるよう、尽力してまいります。

採用意欲はただら模様でも、全体は回復基調

2021年3月期は、国内外で新型コロナウイルス感染拡大の影響を大きく受けた1年となりました。

その中で、当社グループの主力事業である、Staffing SBU (Strategic Business Unit) につきましては、「同一労働同一賃金」の法改正に対して多くの顧客企業さまにご理解・ご同意をいただきましたこと、そしてBPO領域の成長も寄与したことで好調に推移しました。その一方、収益性の高い人材紹介事業を展開するCareer SBUは新型コロナウイルス感染拡大に

よる企業の採用抑制の動きを大きく受けたことにより、2021年3月期のグループ全体の売上高は950,722百万円、営業利益は26,439百万円と前期に比べ減収減益となりました。

しかしながら、足元の企業の採用意欲は、依然として業種ごとにまだら模様ではありますが、総じて回復基調にあります。そのため当社グループは、引き続き、顧客企業さまの需要に柔軟に対応しながら人材サービスを提供していく方針です。

また、2020年8月に発表した『中期経営計画2023』の達成に向けては、現時点では概ね計画通りに進捗しております。新型コロナウイルス感染拡大の影響による見通しの不透明感は続いており、決してハードルは低くはありませんが、計画の達成に向け、グループ一丸となり取り組んでまいります。 [「中期経営計画2023」の推進 P.9 →](#)

「不易流行」。軸はぶらさず、変えるべきところはスピード感もって

当社グループは、経営理念である「雇用の創造」「人々の成長」「社会貢献」を基盤に、社員全員が「誠実」「顧客志向」「プロフェッショナルリズム」「チームワーク」「挑戦と変革」の5つの行動指針という価値観を共有し、



「人」と「企業」をつなぎ、
世界中で「はたらいて、笑おう。」の
最大化を目指します。

中期経営計画2023の全体方針



グループビジョン「はたらいて、笑おう。」の2030年実現に向けて、これからも邁進してまいります。

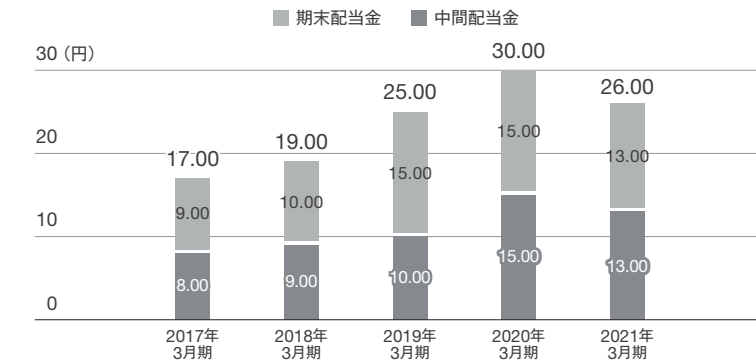
あわせて、コロナ禍における世の中や企業からの要望、個人のはたらき方など、時代とともに変化していくものに対しては、我々もその変化にいち早く対応し、積極的に挑戦し続けていきます。また、“はたらく”ことに関して、当社グループが率先して変化を起こす立場になる必要もあると考えています。

蓄積した膨大なデータを活用し、さらなる価値を提供します

今後は、さらに、はたらく個人にしっかりとフォーカスをあて、施策を行っていきます。これまで当社グループは、多くの企業や自治体とお付き合いをする中で、“はたらく”ことに関して、非常に多くの価値ある情報を蓄積してきました。この分野においては、日本の情報集積地と言っても過言ではありません。

個人情報データを厳格に管理した上で、この情報を適切に活用し、はたらく個人それぞれに合った仕事の選択肢を提供するとともに、最適なアドバイスもできるような存在になるべきだと考えています。

1株当たり配当金



データ活用は一朝一夕でできるような簡単なものではありませんが、当社グループが抱える膨大なデータは社会の価値であり、効果的に活用することで、はたらく人々はもちろん、多くの企業、自治体からの期待に応えられると考えています。

100年、200年、世の中から求められ続ける企業を目指して

これまで、我々のサービスは多くの企業さまのビジネスのお役に立ってきたと自負しております。そして、今回のコロナ禍においても、在宅派遣サービスの拡充や、各自治体が進めているワクチン接種に関わるさまざまな業務を担当するなど、当社グループが担う役割も、より幅広く、より深みを増してきました。

このように社会性の高いビジネスを行っている当社グループは、これからもその責任を果たすべく、100年、200年と世の中から求められる企業であり続けなければならないと考えています。

はたらく人々の「より良い人生」を実現するため、また多くの企業の発展のために、精一杯尽力していく所存でございますので、ステークホルダーの皆さまには、ぜひその考えに共感いただき、末永くご支援いただければ幸いです。

事業概況

2020年4月1日より、経営判断の迅速化とガバナンスシステムの充実の両立を目的として、SBU(Strategic Business Unit)体制に移行いたしました。

人と組織を最適につなぐ「Staffing SBU」と「Career SBU」、人と技術の力で豊かな社会づくりに貢献する「Professional Outsourcing SBU」、世の中の最先端をサービス化し人の可能性を広げる「Solution SBU」、そして海外において人と組織を最適につなぐ「Asia Pacific SBU」という5つのSBU体制にて、グループ一丸となってグループビジョン「はたらいて、笑おう。」の実現を目指してまいります。

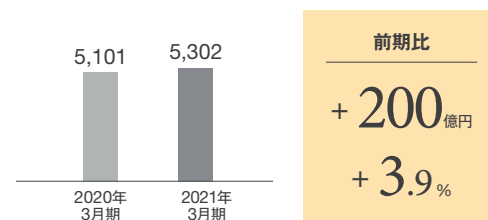


Staffing SBU

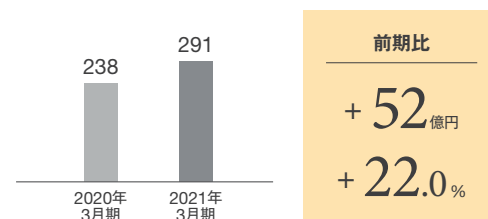
当期のポイント

前期に比べ、稼働日が3営業日増加したことに加え、同一労働同一賃金の対応などに係る請求単価の上昇、さらに収益性の高いBPO領域において受託案件が増加したことにより増収増益となりました。

売上高(単位:億円)



営業利益(単位:億円)

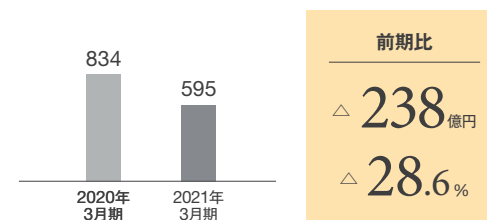


Career SBU

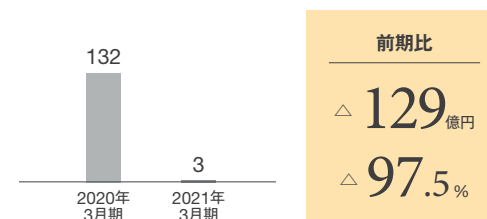
当期のポイント

人材紹介事業、求人メディア事業ともに受注は回復傾向にあるものの、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けたことに加え、「an」事業の終了(2019年11月)により減収となりました。利益面は、継続してコスト削減を実施したものの、減収により大幅な減益となりました。

売上高(単位:億円)



営業利益(単位:億円)

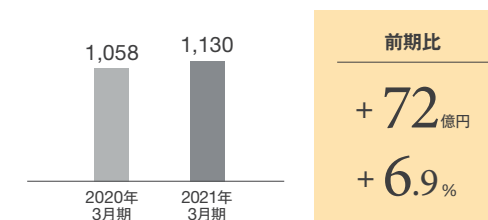


Professional Outsourcing SBU

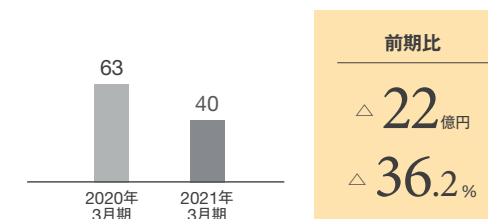
当期のポイント

IT領域が高成長を維持したことにより、増収となりました。利益面は、期中でエンジニアリング領域において未稼働技術者が発生したこと、またIT領域で人員の拡充を行ったことにより、売上高人件費率が上昇した結果、減益となりました。

売上高(単位:億円)



営業利益(単位:億円)

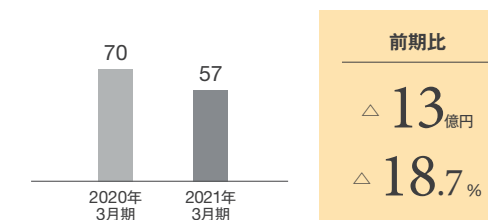


Solution SBU

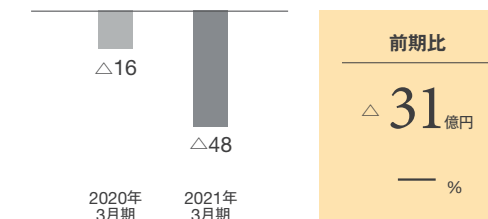
当期のポイント

新型コロナウイルス感染拡大による企業の採用意欲の減退傾向や、飲食店への自粛要請などの影響により減収となりました。利益面は、減収に加え、販売促進のために人員拡充などの投資を進めた結果、営業損失となりました。

売上高(単位:億円)



営業損失(単位:億円)

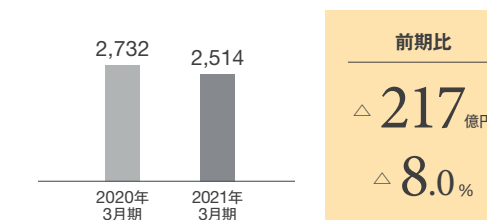


Asia Pacific SBU

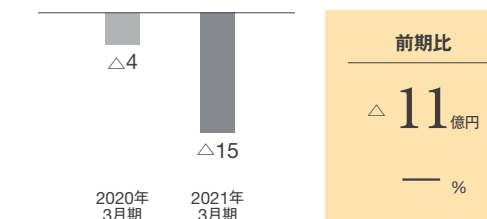
当期のポイント

シンガポールで人材派遣事業が伸長したことに加え、中国における人材紹介事業や豪州の派遣事業に回復が見られたものの、その他アジア地域における新型コロナウイルス感染拡大からの回復の遅れもあり、減収・営業損失となりました。

売上高(単位:億円)



営業損失(単位:億円)





執行役員 CHRO 美濃 啓貴

DI&E (Diversity, Inclusion & Equality)

～障害者・多様な属性の方々への取り組み～

すべての「違い」を、 未来の可能性へ

ダイバーシティ推進は、 企業の持続的成長のための成長戦略の一環です。

本来、人はみな違う属性・価値観・能力を持って生まれ、経験やスキルを掛け合わせながら、他の人とはまったく違う「多様性」を確立し、成長しています。しかし、同質性が求められる社会の中で、自分の多様性を内にしまい込み、生きにくさを感じながら仕事と向き合ってきた方は少なくないのではないでしょうか。

私たちパーソルグループが目指すのは、その一人ひとりの多様性を最大限に活かしながら、すべての人たちが自分らしく生き、自分らしくはたらける社会の実現です。

はたらく人それぞれの属性・価値観を理解し、チームや組織の中で個々の可能性を引き出しながら、「能力の多様性」が融合することで、新たなアイデアが生まれる、既存のサービスをより良いものにできるといった、社会を前進させるポジティブな循環を生み出すことができます。

パーソルグループでは、この「PERSOL DI&E SPIRAL」の考え方を基本に、グループビジョン「はたらいて、笑おう。」の実現に向けた経営戦略の一環として、ダイバーシティの実現に取り組んでいます。

障害も「個性」。 やりがいをもって長くはたらける環境を作ります。

私たちパーソルグループは、障害も個人がもつ「属性」のひとつであり、その人の「個性」のひとつだと考えています。もちろん、抱えている障害によっては、周りの配慮が必要であったり、健常者と同じスピードでは業務をこなせない場合もありますが、その一方で、同じ作業を集中力高く正確に続けられるなど、独自の強みを持つ方、適切な支援さえ整えば成果をだし成長していく方がたくさんいます。その能力を最大限に発揮できる環境を作ることが、私たちの役目です。

現在、パーソルグループでは国内最大級の雇用数1,600名^{※1}を超える障害のある社員が活躍しています。印刷関連、封入封かん発送、清掃、福利厚生(カフェテリア、リフレッシュサービス)、農作業から、各事業の基幹システムへの入力や営業支援ツールの作成まで、多岐にわたる業務で「はたらいて、笑おう。」の実現、グループの成長に貢献しています。

そして、障害のある社員の誰もが、やりがいをもって仕事に取り組めるよう、目標設定や評価面談を定期的に行い、人材育成にも注力しています。障害や体調、通院などの事情により毎日の通勤や長時間の勤務がむずかしい場合、

リモートワークや時短勤務の検討や、障害の有無にかかわらず研修に参加できるなど、一人ひとりが自分にあったはたらき方を選択できるような環境整備も進めています。その結果、約94%の方々が、一年以上、勤務を継続^{※2}してくれていることは私たちの誇りであり、取り組みに対して強い手ごたえを感じています。

※1 2020年6月時点。

※2 特例子会社3社(パーソルエクセルアソシエイツ、パーソルサンクス、パーソルチャレンジ)における2020年4月時点の数値。

世界に「はたらいて、笑おう。」を。

私たちは障害のある方とともにさまざまな取り組みを進めていますが、それらの経験も生かしながら、“障害の有無”にかかわらず、病気を抱えている方や、社会的・文化的背景の中で何らかのハンディキャップを抱えている方、はたらくうえで制約のある方々に対して社会参画の支援をしていきたいと考えています。

例えば、パーソルグループの子会社Programmedは、オーストラリアでアボリジニやトレス海峡諸島の人々など、先住民の雇用支援をしています。2026年までに5,000名の雇用機会創出を約束し、その達成に向けて職業訓練などの場を提供するなど、さまざまな取り組みを実施しています。

世界全体を見渡せば、何らかのハンディキャップを抱えて社会参画できていない人たちがまだたくさんいます。その人々にもはたらく機会を提供し、世界中の「はたらいて、笑おう。」を支援していきたいと思っています。

障害者・多様な属性の方々への取り組み



地元農家の労働力不足解消に貢献する よこすか・みうら岬工房



高齢化で縮小した養蚕業を盛り上げるとみおか繭工房



アボリジニ・トレス海峡諸島の人々など、先住民への雇用機会の提供

「ともにはたらき、ともに笑う」ための新しい取り組み

私たちは、2030年に障害のある方を約10,600名雇用することを暫定目標値として掲げています。ひとくちに障害といっても多様な特性がある障害のある方に自分らしくはたらいていただけるよう、新しい取り組みも始めています。

私たちが目指す姿(障害者雇用数の目標数値)



まず、9月に設立した就労継続支援A型のパーソルネクステージでは、福岡事業所を開所しました。まだ仕事限定されがちな地域において、首都圏の企業からITを中心とした業務を受託し、通所はもちろんテレワークなどさまざまなスタイルでできる仕事の提供を開始しています。

また、障害者雇用支援事業を手掛けるパーソルチャレンジでは、LGBTなどの性的マイノリティ当事者かつ障害のある方の転職や就職を支援する「LGBT当事者×障害者のための転職・就職支援サービス」を開始しました。

さらに、障害の有無にかかわらずに自分らしいはたらき方を実現するためのサイト『with』をオープン。本サイトでは、パーソルの障害者雇用における環境づくりや今後の展望などの情報を紹介するほか、今後は、実際にはたらく社員のインタビューなども拡充していきます。

これからもパーソルグループは、障害の有無を越えて、ともにはたらく、多様性に溢れた未来の実現を目指してまいります。



▶ パーソルグループのDI&E

▶ 障害者採用サイト「with」

「中期経営計画2023」の推進

2030年「はたらいて、笑おう。」の実現に向けた第一歩目として、昨年度、中期経営計画2023を策定しました。全体方針として、「社会的価値の向上」「経済的価値の向上」「SBU体制への移行」「成長領域の特定」「テクノロジーによる事業強化」を掲げています。「社会的価値の向上」に向け、今年度取り組む施策をご紹介します。



世界中で「はたらいて、笑おう。」を最大化

1 「はたらいて、笑おう。」グローバル調査を開始

- 公益財団法人Well-being for Planet Earthと共同で、世界最大の世論調査であるGallup WorldPollを通じて、世界中のはたらく人々の「はたらいて、笑おう。」の実現度を測る調査を、世界118カ国12万人を対象に実施
- 米国Gallup社の行う世論調査データは国連などの国際機関でも引用される信頼性の高いものであり、世界中でさまざまな研究にも活用されています
- 今年9月に調査結果の発表を予定、今後この調査で得られるデータを活用して、「はたらいて、笑おう。」の状態が社会にもたらす価値を研究し、世界中で認知・共感を高めていくことで、日本国内はもとより世界中で「はたらいて、笑おう。」実現を目指します

GALLUP



2 各事業のサービス対象者に対する調査を実施

- 各SBUのサービス対象者における「はたらいて、笑おう。」の実現度を高める目的で、SBUごとに新たな指標を導入
- この指標は「はたらいて、笑おう。」の実現度を可視化するだけでなく、その向上が各事業の成長にも寄与することを念頭に設計しており、社会的価値と経済的価値を相互に向上させるものとして活用していきます

3 グループ社員に対する調査を実施

- 社員に対しても「はたらいて、笑おう。」の実現度を測る調査を昨年度より実施中
- 社員一人ひとりが生き生きとはたらき続けられる会社づくりを進めるなど、社内外で「はたらいて、笑おう。」実現を推進していきます

会社概要 (2021年3月31日現在)

会社名	パーソルホールディングス株式会社 PERSOL HOLDINGS CO., LTD.	
設立	2008年(平成20年)10月1日	
本社事業所	東京都港区南青山1-15-5	
本店所在地	東京都渋谷区代々木2-1-1	
事業内容	労働者派遣事業・有料職業紹介事業等の事業を行うグループ会社の経営計画・管理並びにそれに付帯する業務	
資本金	17,479百万円	

役員一覧 (2021年6月22日現在)

名誉会長	篠原 欣子	
取締役会長	水田 正道	
代表取締役社長 CEO	和田 孝雄	
代表取締役副社長	高橋 広敏	
社外取締役	玉越 良介	
	西口 尚宏	
	山内 雅喜	
取締役 (常勤監査等委員)	林 大介	
社外取締役 (監査等委員)	榎本 知佐	
	友田 和彦	

株式の状況 (2021年3月31日現在)

発行可能株式総数	720,000,000株
発行済株式の総数	236,704,861株
株主数	7,872名

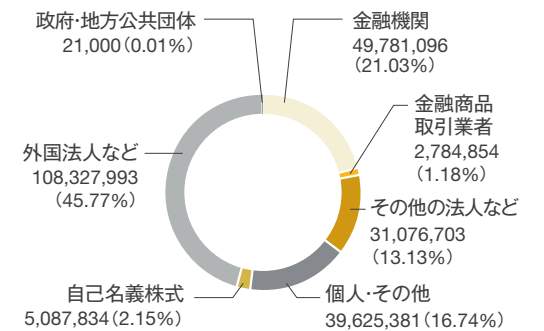
大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
篠原 欣子	26,331,600	11.36
一般財団法人 篠原欣子記念財団	15,800,000	6.82
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	15,272,400	6.59
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	11,741,600	5.06
JP MORGAN CHASE BANK 385632	10,641,719	4.59
ケリーサービスジャパン 株式会社	9,106,800	3.93
THE CHASE MANHATTAN BANK 385036	7,700,391	3.32
JP MORGAN CHASE BANK 380072	6,172,402	2.66
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE FIDELITY FUNDS	5,972,279	2.57
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	4,773,125	2.06

※ 持株比率は自己株式5,087,834株を除外して計算しております。
※ 持株比率(%)は小数点第3位を切り捨てております。

株式所有者別分布状況 (2021年3月31日現在)

(単位:株)



※持株比率(%)は小数点第3位を四捨五入しております。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで	
定時株主総会	6月下旬	
基準日	定時株主総会	3月31日
	期末配当金	3月31日
	中間配当金	9月30日
株主名簿管理人 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社	
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒183-0044 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 (通話料無料) URL https://www.tr.mufg.jp/daikou/	
上場証券取引所	東京証券取引所(市場第一部)	
公告方法	電子公告 公告掲載URL https://www.persol-group.co.jp (ただし、事故その他やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載して行います。)	